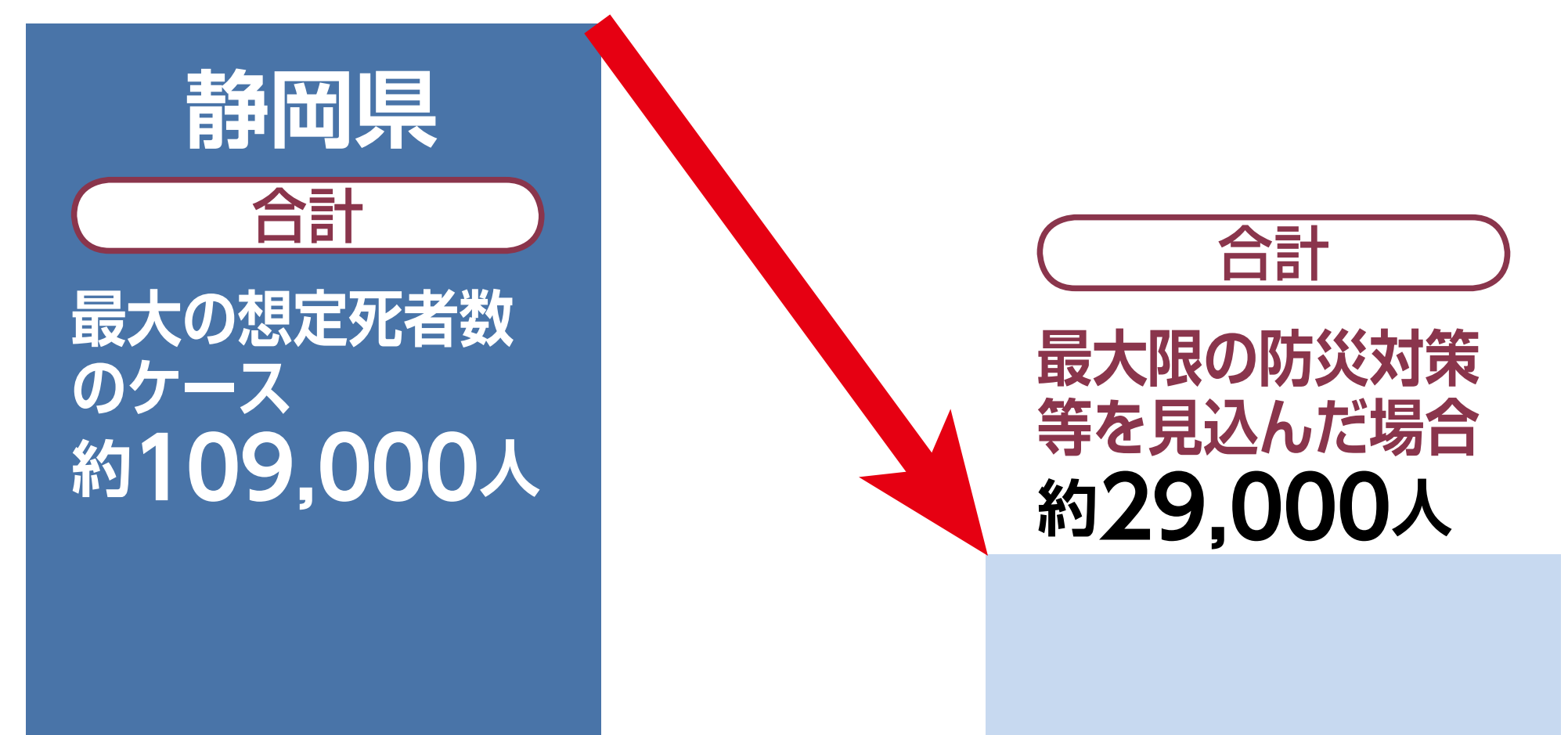
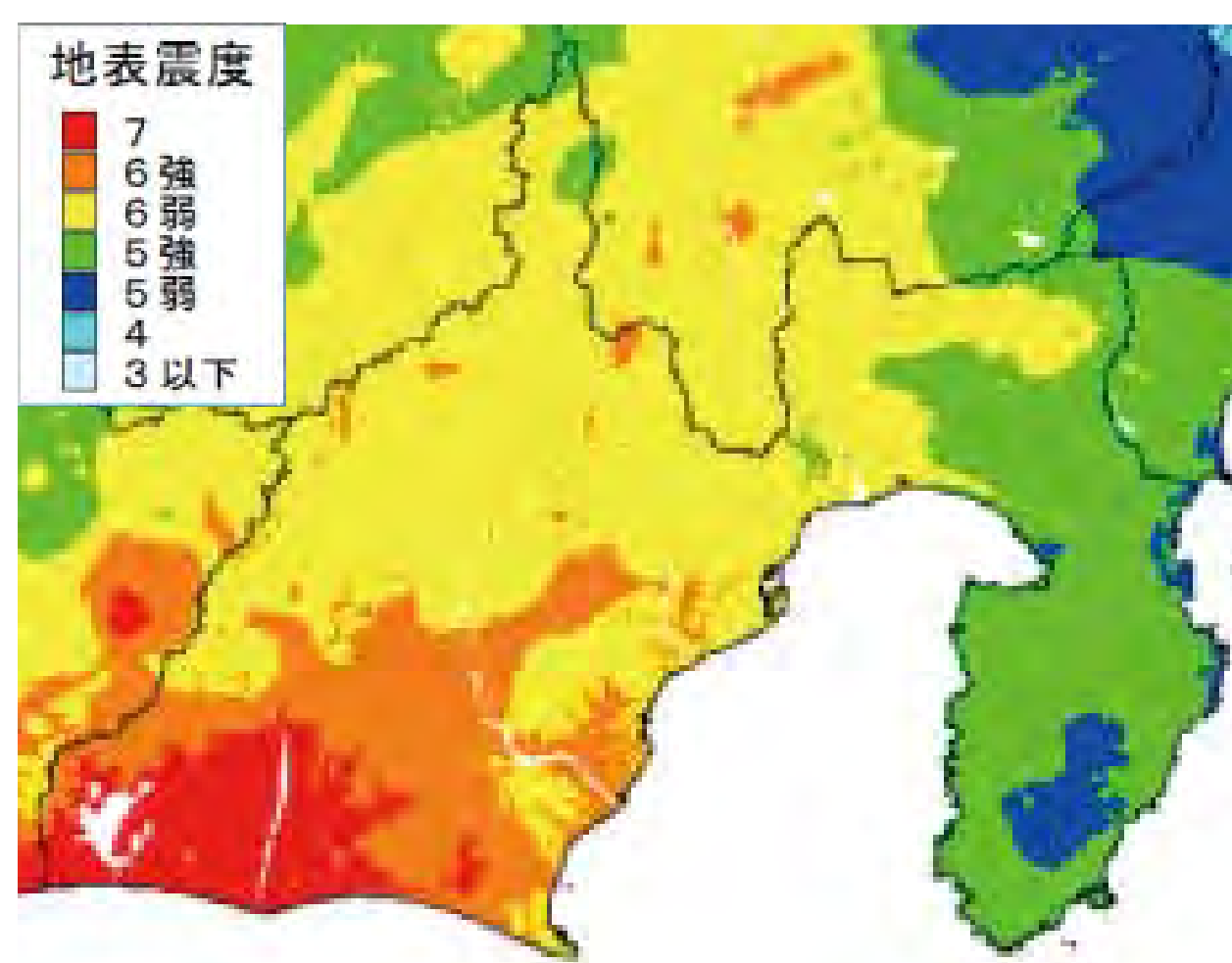


「大きな被害を想定」

最大限の防災対策で 被害は大幅軽減。

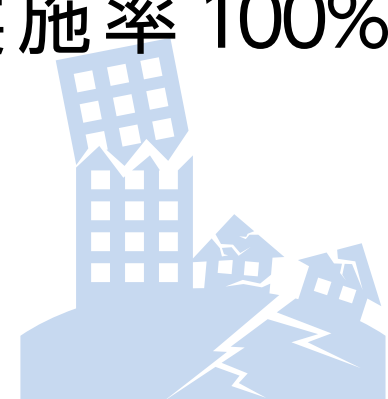
南海トラフ
巨大地震に備えて



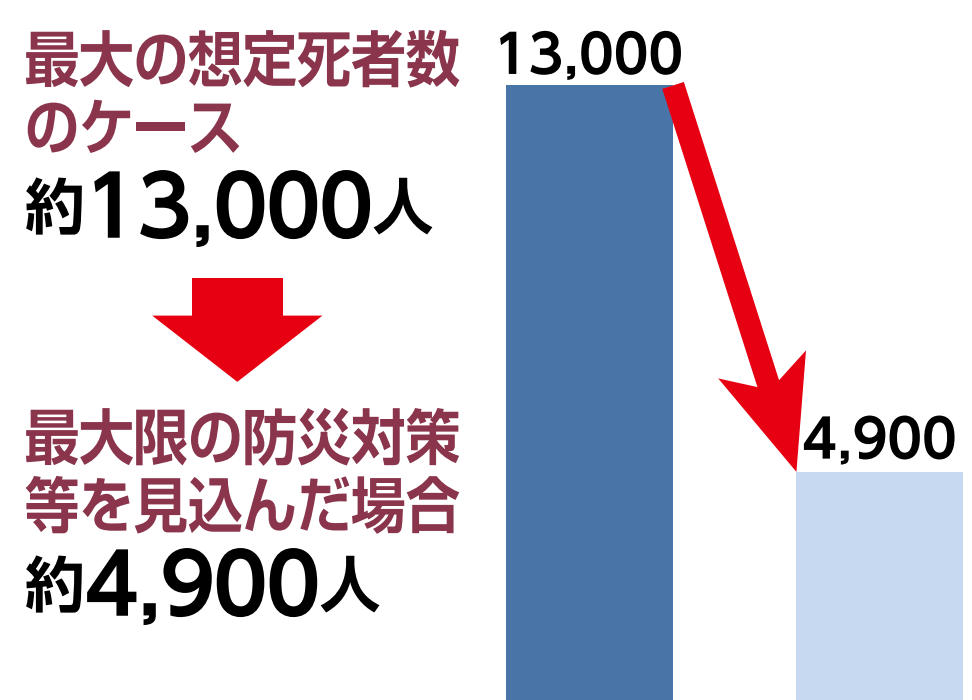
最大限の防災対策等と被害軽減効果

建物被害

- 建物の耐震化率 100% の達成
- 家具等の転倒・落下防止対策実施率 100% の達成



建物倒壊による死者数

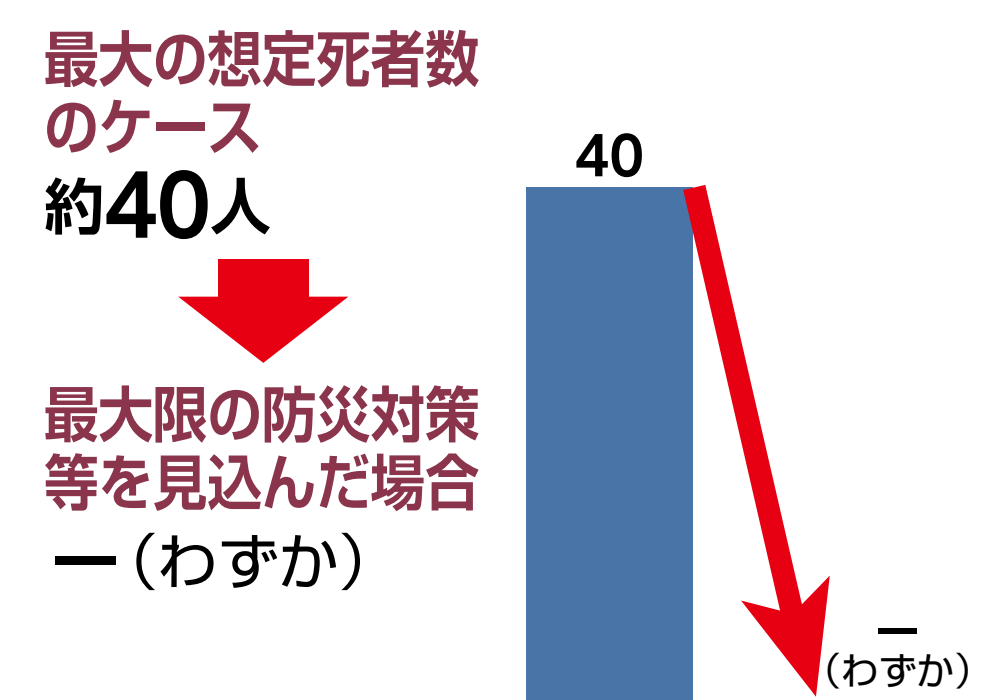


急傾斜地崩壊

- 急傾斜地崩壊危険箇所整備率 100% の達成

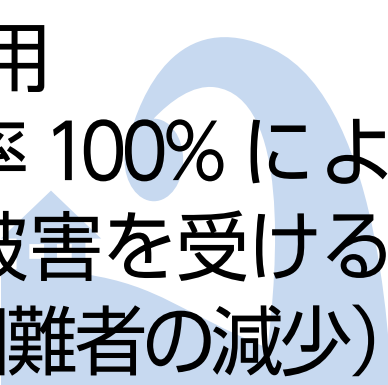


急傾斜地崩壊による死者数

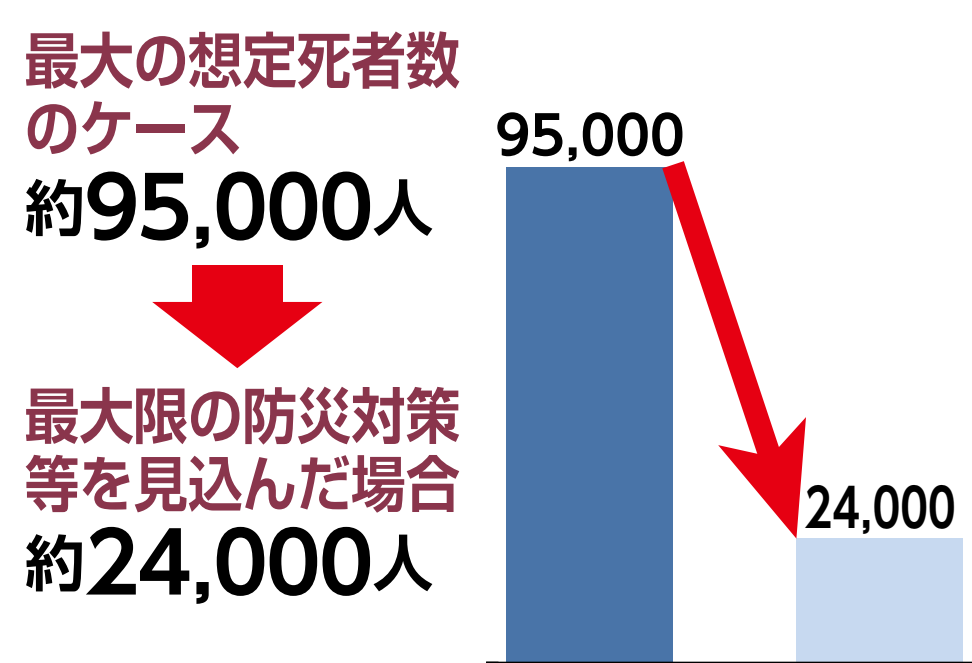


津波

- 全員が発災後すぐに避難開始
- 既存の津波避難ビルの有効活用
- (耐震化率 100% による、津波被害を受ける自力脱出困難者の減少)

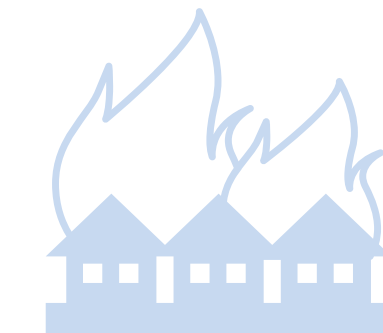


津波による死者数

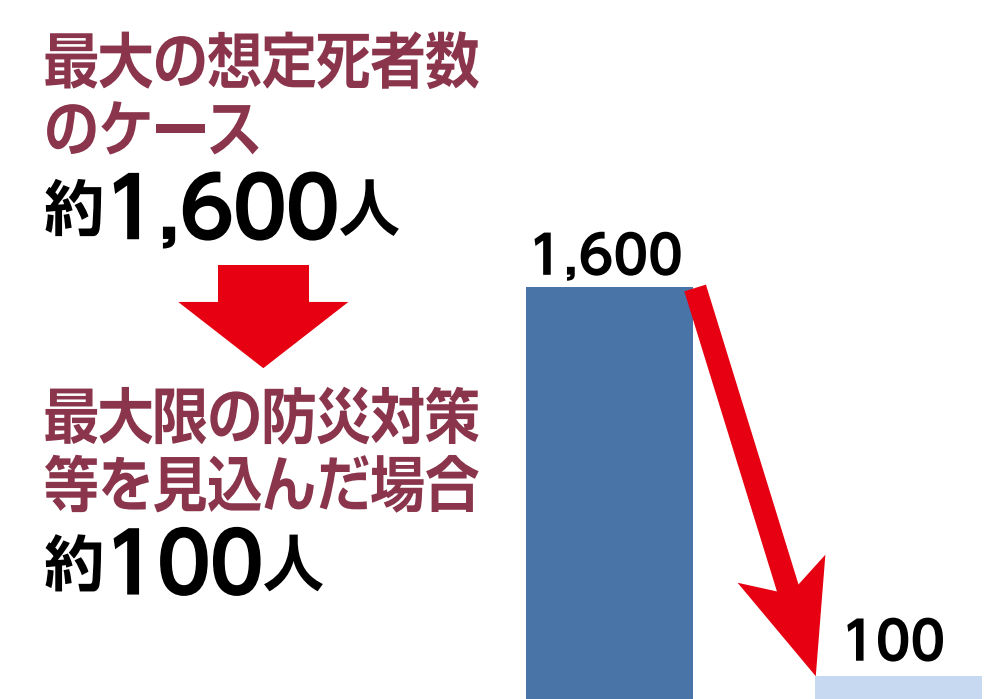


火災

- 電熱器具等からの出火を防止する感電ブレーカー等の設置の実施率 100% の達成
- 家庭用消火器等の消火資機材保有率の向上等による初期消火成功率の向上
- (耐震化率 100% による、延焼火災被害を受ける自力脱出困難者の減少)

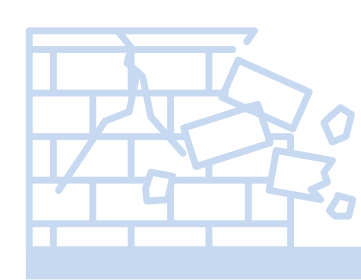


火災による死者数



ブロック塀等

- ブロック塀・自動販売機の転倒防止及び屋外落下物対策の実施率 100% の達成



最大の想定死者数のケースは、地震動：陸側ケース、津波：ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期非難率低
 最大限の防災対策等を見込んだ場合は、地震動：陸側ケース、津波：ケース①、冬深夜、風速 8m/s、各種防災対策の徹底
 この被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。
 出典：平成 24 年 8 月 29 日中央防災会議「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」から部分抽出